

対象プログラム/科目	
名称	海外 大学 日本語専攻課程
実施期間	年 月 ~ 年 月

利用の目的	
プログラムの全体像を把握する。	プログラムの現状を記録する。
問題を特定する。	<input checked="" type="radio"/> 過去のプログラムを振り返る。
<input checked="" type="radio"/> プログラムについて説明する。	新しいプログラムを作る
その他()	

記入後に見せたい人	
<input type="checkbox"/> 内部者(具体的に:)	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部者(具体的に:)	
<input type="checkbox"/> その他(具体的に:)	
(自分のみ)	

社会的背景 (促進要素・制約・条件など) (どのような社会的ニーズがありますか。)

語学教育を伴う地域研究の拠点校としての歴史
日本語運用力、実践力を持った学生の排出
知日派、日本通の育成

使命	目標	実績
(あなたの組織・言語教育プログラムの使命(ミッション)は何ですか。)	(言語教育活動の目標は何ですか。)	(これまでどのような実績がありますか。)
日本語運用力の養成 日本留学へ向けての準備、育成	日本語でのコミュニケーション能力をもち、なおかつ高度な読み書きができること	100年の歴史。 多くの知日派を排出 毎年50人ほどの卒業生 日本語を使用する就職、日本在住者多数

【構成要素】 **【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】** **【活動】**

ヒト(関係者)

◎ 教育・支援スタッフ

種類・役割: どのような教員/支援担当者(コーディネーターなど)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。

日本語の専門教員 6人。(学科長を持ち回りで担当)
日本語教育担当 プログラムのコーディネーター1人、留学の担当
専任講師 3人、 非常勤講師 3~6人

活動の指針となる考え・方法: どのようなことをスタッフで共有していますか。

学生の自律学習の促進、日本語力上達の確認、
学生一人一人の支援

◎ 運営スタッフ

種類・役割: どのような運営担当者(事務担当など)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。

学部単位の事務員
留学関係は教員が行う。協定校との連携、送り出し学生の選抜、配置、書類作成など

運営スタッフのニーズ: プログラムや学習者に対しどのようなことを期待していますか。

留学関係の事務を大学の中で分担してほしい。
日本語は他の語学よりカリキュラムが複雑だと思われるので、理解をもとめながら、その簡素化

◎ 学習者

種類・特徴: どのような学習者(正規生、聴講生、受講者など)がいますか。それぞれのプロフィール(背景・特性等の特徴)はどのようなものですか。

学位を目的として入学してくる正規学生
世界各地から入学してくる。
概ね18歳だが、21歳以上の成人学生の入学者もいる。

学習者のニーズ: プログラムや日本語学習等に対してどのようなニーズがありますか。

近年、発達障害、学習障害の学生の増加
継承語系の学生の増加
軽めのカリキュラムへの希望・学費に見合った内容

◎ その他: 上記以外でプログラムの運営に際し考慮すべき立場の関係者・関係組織(例えば、学校経営者、組織長、行政の担当者、予算配分者など)

種類・関わり方: どのような立場の人や機関がありますか。それぞれどのように関わっていますか。

入学者選考部署、教務部、人事部
学部長
外部試験官
高等教育質保証機構、大学研究評価制度
協定校

各関係者のニーズ: プログラムに対しどのようなニーズがありますか。

透明性、基準の明確さ
学生数の増加
退学者、落伍者の減少

コース/カテゴリー

1年目 Elementary Japanese
Accelerated Elementary Japanese
2年目 2nd year Japanese
3年目 日本留学
4年目 4th year Japanese (選択)

レベル

1年目 初級
2年目 中級
4年目 上級

サイズ(人数)

1年目 2年目 50~70人
4年目 30人

期間

年22週+学年末試験期間

内容(技能・ジャンル・活動など)

1コマ50分
1年目 Elementary Japanese 週10コマ
Accelerated Elementary Japanese 週6コマ
2年目 2nd year Japanese 週8コマ
4年目 4th year Japanese (選択) 週3コマ

その他(特記事項)

教科書のほかに独自作成の教材を作成。
自律学習ができるように、単元の進め方を決め、ルーティン化を図っている。

計画・準備

カリキュラムの検討
教材の改善
授業の進め方の話し合い

実施

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】の実施

評価・振り返り

フィードバック・見直し・改善

評価・振り返りの結果、どのような改善を行いますか。

カリキュラムの検討
教材の改善
授業の進め方の話し合い

どのような評価・振り返りのためにどのような活動を行っていますか。

レッスンテスト、中間テスト
学年末テスト(成績の60~80%)
学生によるコース評価

教員による相互授業参観
学科長による教員の面談
外部試験官による評価

モニター

【シラバス・カリキュラム等(基本計画)】が計画通りに行われているかを、どのようにチェックしていますか。

日々のことは、教員間の情報交換で、
コーディネーターが把握。
学科会議で情報交換

国の教育方針、言語政策の確認
基準(国のもの、CEFR)の確認
本学の方針(学生数のわりあてなど)の確認
協定校の要請があれば検討

情報(知識・経験なども含む)の共有

共有範囲:	共有方法:
学習者に関する情報	入学者選考部署、教務課、協定校
カリキュラム・成績に関する情報	学科会議、口頭、メールなどでの連絡/依頼
教育・活動方法に関する情報	学科会議、口頭、メールなどでの連絡/依頼
設備・施設等に関する情報	施設担当部署
プログラム評価(方法・結果等)に関する情報	外部試験官
関係者・組織に関する情報	人事課
予算に関する情報	特になし
その他の情報	

モノ(施設・設備)

学習者用: どのような施設(ラウンジ、LL、図書館、自習室など)設備(コンピュータ、給湯、教科書/教材、など)がありますか。

図書館、コンピューター室、全学生用ラウンジ、食堂

教師・学習支援者用: どのような施設(教員室、教材用図書室、など)設備(コンピュータ、給湯、教科書/教材、など)がありますか。

1名ないし2名の研究室、コンピュータ
コピー室: 各教室にプロジェクタあり

カネ(予算・資金)

十分な予算・資金が確保されていますか。(十分でない場合は、何のための予算が必要ですか。)

予算不足のため、緊縮財政を強いられている。
国家予算のため、翻弄されている部分がある。予算であてがわれた学生数の枠に対し、学生数が多すぎても少なすぎてもペナルティーがある。

教員不足、教室不足

外部の関連団体・プログラム

種類・関係: どのような団体やプログラムなどがありますか。それぞれどのように関連していますか。

大学入学資格試験関連団体、国際交流基金、教師会

対象プログラム/科目

名称	外大学日本語専攻課
----	-----------

社会的背景
(促進要素・制約・条件など)

(どのような社会的ニーズがありますか。)

語学教育を伴う地域研究の拠点校としての歴史
日本語運用力、実践力を持った学生の排出
知日派、日本通の育成

使命

目標

実績

<p>(あなたの組織・言語教育プログラムの使命(ミッション)は何ですか。)</p> <p>日本語運用力の養成 日本留学へ向けての準備、育成</p>	<p>(言語教育活動の目標は何ですか。)</p> <p>日本語でのコミュニケーション能力をもち、なおかつ高度な読み書きができること</p>	<p>(これまでにどのような実績がありますか。)</p> <p>100年の歴史。 多くの知日派を排出 毎年50人ほどの卒業生 日本語を使用する就職、日本在住者多数</p>
---	---	---

対象プログラム/科目

名称 海外大学 日本語専攻課程

【構成要素】

ヒト(関係者)

<p>◎ 教育・支援スタッフ</p>	<p>種類・役割:どのような教員/支援担当者(コーディネーターなど)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。 日本語の専門教員 6人。(学科長を持ち回りで担当) 日本語教育担当 プログラムのコーディネーター1人:留学の担当 専任講師 3人、 非常勤講師 3~6人</p>	<p>活動の指針となる考え・方法:どのようなことをスタッフで共有していますか。 学生の自律学習の促進、日本語力上達の確認、 学生一人一人の支援</p>
<p>◎ 運営スタッフ</p>	<p>種類・役割:どのような運営担当者(事務担当など)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。 学部単位の事務員 留学関係は教員が行う:協定校との連携、送り出し学生の選抜、配置、書類作成などなど</p>	<p>運営スタッフのニーズ:プログラムや学習者に対しどのようなことを期待していますか。 留学関係の事務を大学の中で分担してほしい。 日本語は他の語学よりカリキュラムが複雑だと思われるので、理解をもとめながら、その簡素化</p>
<p>◎ 学習者</p>	<p>種類・特徴:どのような学習者(正規生、聴講生、受講者など)がいますか。それぞれのプロフィール(背景・特性等の特徴)はどのようなものですか。 学位を目的として入学してくる正規学生 世界各地から入学してくる。 概ね18歳だが、21歳以上の成人学生の入学者もいる。</p>	<p>学習者のニーズ:プログラムや日本語学習等に対してどのようなニーズがありますか。 近年、発達障害、学習障害の学生の増加 継承語系の学生の増加 始めのカリキュラムへの希望:学費に見合った内容</p>

rik
ahw
e

◎その他:上記以外でプログラムの運営に際し考慮すべき立場の関係者・関係組織

(例えば、学校経営者、組織長、行政の担当者、予算配分者など)

<p>種類・関わり方:どのような立場の人や機関がありますか。それぞれどのように関わっていますか。 入学者選考部署、教務部、人事部 学部長 外部試験官 高等教育質保証機構、大学研究評価制度 協定校</p>	<p>各関係者のニーズ:プログラムに対しどのようなニーズがありますか。 透明性、基準の明確さ 学生数の増加 退学者、落伍者の減少</p>
---	--

情報(知識・能)

	共有範囲:次の種類の情報をどのような人たちと共有していますか。	共有方法:次の種類の情報をどのような方法で共有していますか。
学習者に関する情報	入学者選考部署、教務課、協定校	学科会議、口頭、メールなどでの連絡/依頼
カリキュラム・成績に関する情報	学部事務室、教務課、外部試験官	学科会議、口頭、メールなどでの連絡/依頼
教育・活動方法に関する情報	学部事務室	学科会議、口頭、メールなどでの連絡/依頼
設備・施設等に関する情報	施設担当部署	口頭、メールなどでの連絡/依頼
プログラム評価(方法・結果等)に関する情報	外部試験官	口頭、メールなどでの連絡/依頼
関係者・組織に関する情報	人事課	口頭、メールなどでの連絡/依頼
予算に関する情報	特になし	
その他の情報		

モノ(施設・設備)

<p>学習者用:どのような施設(ラウンジ、LL、図書館、自習室など)設備(コンピュータ、絵画、教科書/教材、など)がありますか。 図書館、コンピューター室、全学生用ラウンジ、食堂</p>	<p>教員・学習支援者用:どのような施設(教員室、教材用図書室、など)設備(コンピュータ、絵画、教科書/教材、など)がありますか。 1名ないし2名の研究室、コンピュータ コピー室: 各教室にプロジェクタあり</p>
---	--

カネ(予算・資金)

十分な予算・資金が確保されていますか。(十分でない場合は、何のための予算が必要ですか。)
 予算不足のため、緊縮財政を強いられている。
 国家予算のため、削減されている部分がある。予算であってがわれた学生数の枠に対し、学生数が多すぎても少なくともペナルティーがある。
 教員不足、教室不足

外部の関連団体・プログラム

種類・関係:どのような団体やプログラムなどがありますか。それぞれどのように関連していますか。
 大学入学資格試験関連団体、国際交流基金、教師会

対象プログラム/科目

名称 海外 大学 日本語専攻課程

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】

【活動】

